年間授業計画 新様式

千早 高等学校 令和7年度 教科

国語科 科目 現代の国語

教 科: 国語科 科 目: 現代の国語 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1 学年 HR 11 ~ HR 16

教科担当者:

使用教科書: (新現代の国語 三省堂

教科 国語科 の目標:

【知 識 及 び 技 能】基礎的な語彙力・読解力を持ち、授業や課題から得た知識を活用することができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】 基礎的な思考力・判断力を持ち、自己の意見を正確に伝えられるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】 他者を尊重し、人の意見を傾聴する力を持ち、時間をかけて学びに取り組む態度を養う。

科	目の現代の国語	の目標:							
【知識及び技能】 言葉や文章について得た知識や技能を適切に使い、自己のために役立てたり他者と共有することができるようになる。			【思考力、判断力、表現力等】 様々な文章のテーマや内容を的確に読み取って 解釈したうえで、作品に対する自分の意見を他 者に筋道立てて伝えることができるようにな る。		【学びに向かうカ、人間性等】 現代の国語の授業の中で得た様々な情報を活用 したり他者と協力したりすることによって、自 己の課題を改善することができるようになる。				
	単元の具体的な指導目標	:	指導項目・内容	評価規	 ! 準	知	思	態	配当時数
	単元『わかり合うために』 【知識及び技能】 ・漢字や語句の知識を増やすと共 に、漢字や語句の相響を目指す。 ・言葉には、認識や思考を支える働 きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容を踏まえて、内容や構成、流の理の展開などについて的確に 捉え、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強い取り組みと学びに対する 積極的な態度を育成する。	・文章を誘・主張と事る。教材『わか・文章を誘	言葉、届かない言葉』 表み、概要を把握する。 体例の関係を的確に捉え いりあえないことから』 表み、概要を把握する。 -ケーションに対する考え - 捉える。	【知識・技能】 ・漢字や語句の知識を増 して課には、認識や思って、主とを発して表現を理判的を 、【思考・の内容とである。 【思考の内容とである。 「主体的にで学習に取りを 、「主体的強いな積極的な態」 学びに対する積極的な態。	を支える働きがある 、内容や構成、論理に捉え、要旨や要点 む態度】	0	0	0	7
٠.	単元『確かな情報を伝えるために』 【知識及び技能】 ・漢字や語句の知識を増やすと共 に、豊かな語彙の構築を工方や接続 ・文章の効果的な組み立て方や接続 の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが明確に伝わるよう、 話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かうカ、大間性等】 ・粘り強い取り組みと学びに対する 積極的な態度を育成する。			【知識・技能】 ・漢字や語句の知識を増やし、語彙を豊かに している。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方に ついて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分の考えが明確に伝わるよう、話の構成 や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強い取り組みを行うとともに、自らの 学びに対する積極的な態度がある。		0	0	0	7
	定期考査					0	0		1
	単元『情報を生かすために』 【知識及び技能】 漢字や語句の知識を増やすと共に、 豊かな語彙の構築を目指す。 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方 について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、様々な観点から 情報を収集、整理して、伝え合う内 容を検討する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みと学びに対する積 極的な態度を育成する。	・「にる・え教・・切す・ 文正つ。筆を材文減なるを化て の案減をひと・ 日本が表別・ 日本の表別・ 日本の表別 日本の表別	(学を作る』 きみ、概要を把握する。 ・ルをつくるときに最も大 は何か、筆者の考えを説明 きえるハザードマップの問	て理解を深められている。 【思考・判断・表現】 ・目的や場ににて、伝え ・根集、整理して、伝える。 ・生体的に学習に取り組みを ・・粘り強い取り組みを態 ・・・サンを積極的なを態	の吟味の仕方につい。 々な観点から情報を う内容を検討してい む態度】 うとともに、自らの	0	0	0	14
	定期考査					0	0		1
	単元『よりよい読み手になるために』 【知識及び技能】・漢字や語句彙の知識を増やすと共に、豊かな語句彙の構築を目指す。・個別の情報と一般化された情報との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】・読み手の理解が得られるような論理の展開、情報の分量や重要度について考える。 【学びに向かう力、人間性等】・粘り強い取り組みと学びに対する積極的な態度を育成する。	・・と教・・事教・・ ・・と教・・事教・・ ・・と教・・事教・・ ・・と教・・事教・・		・個別の情報と一般化されて理解している。 【思考・判断・表現】 ・目的や場理に広、伝え合い集、整理して、伝え合る。 ・文章の構成や論理の展	れた情報との関係に 々な観点から情報を う内容を検討してい 開について評価した 考えを深めている。 む態度】 うとともに、自らの	0	0	0	15
2	定期考查					0	0		1
学期	単元『考えを共有していくために』 【知識及び技能】 ・漢字や語句の知識を増やすと共 に、豊かな語彙の構築を目指す。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞 や、直接的な述べ方、婉曲的な述べ	写真で伝こと、写真れぞれの遺	表み、概要を把握する。 会わること、文章で伝わる ほと文章で伝わること、そ ないを指摘する。		などの修辞や、直接				

	【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を予想しながら、話の 内容や構成、表現の仕方を評価する と共に、読み取った情報から自分の 考えを広げる。	・「情報の本質」にいついて考えた ことを具体例を用いてまとめる。 教材『小さな哲学者』	成、表現の仕方を評価すると共に、読み取った情報から自分の考えを広げることができた。	0	0	0	15
				0	0		1
学期	単元『よりよい書き手になるために』 【知識及び技能】 漢字や語彙の構築を増わすと共に、豊かな語彙の構築を目指すどの修辞べ、例示、言い方方、婉直接いの理解を必定出れて対方、地で、直接いて理解を次とながらに、【思考力、判節力、表現力等】論理かな文や資料を引用しなながら自分の意見やに対するを論がより、表している。 【学びに向から力、人間性等】 粘りな態度を育成する。	する。 ・二つの文章に共通しているテーマはどのようなことか見つける。 教材『ものとことば』 ・文章を読み、概要を把握する。 ・筆者の考えを、事例をもとに整理する。 ・二つの文章に共通しているテーマはどのようなことか見つける。	【思考・判断・表現】 ・論理的な文章や実用的な文章を読み、本文 や資料を引用しながら自分の意見や考えを論 述することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	15
	定期考査			0	0		1
							合計 78